



の生活向上をめざす運動となり「国民春闘」と呼ばれるようになりました。最近ではこの間急増している非正規雇用労働者やワーキングプアと呼ばれる労働者も連帯する動きが生まれ、新たな広がりを見せています。

(労働大学出版センター、基礎からまなぶ労働組合入門を参考)

※次号は賃金について掲載予定です。

## 道本部役員逮捕について

3月1日に自治労北海道本部財政局長が政治資金規正法違反で札幌地検に逮捕されました。今回の件については、自治労道本部として組織的に関与したものではありません。あくまでも個人が地域の活動として行っていた任務上のことであり、自治労道本部として違法な資金提供をしてきたということではありません。これまでも自治労道本部として法の範囲内で政治闘争を行ってきています。(違法なことをしていたら大変な問題です) 一部報道では「公務員は政治活動が制限されているのに」などされていますが、私たちは「選挙運動」が全面的に禁止されているものではありませんし、そもそも「政治活動」と「選挙運動」は異なるものです。(政治闘争については、後日改めて紙面学習会などをして理解を深めていきます)

とはいえ、このような事態となったことは非常に遺憾でありますし、1日も早く真相が解明されるよう願うところです。組合員の皆さまには大きな不安や不信感を抱かせてしまったことと思いますが、市職労としては自治労に結集し、運動を進めていきます。

### 道本部役員逮捕報道についての道本部コメント

2010年3月1日現在  
自治労北海道本部

本日、自治労北海道本部 木村美智留財政局長が札幌地方検察庁に逮捕されました。逮捕された容疑は、政治資金規正法違反の容疑とのことです。

昨年の衆議院選挙をめぐって、この間、報道されていましたが、衆議院議員選挙北海道第5区の関連で、新たに政治資金規正法違反の容疑が生じたものとされています。

木村氏は、北広島市に居住していたことから、地域運動として民主党の活動に加わり、2003年頃から民主党北海道第5区総支部の役員を担っていました。

地域の中では、私たちは市民であり、その活動の一環として、地域での政党活動を担っていたと認識しています。

自治労北海道本部は、この間の政党と労働組合の立場をしっかりと踏まえた上で、政治闘争に関わってきていますが、こうした中で、今回の事態に至ったことは極めて遺憾であります。

一私人としての任務であるにしても、全道の組合員の皆さんにご心配とご迷惑をおかけしている点について、心からお詫びを申し上げます。

今回の問題に関して、自治労に結集する組合員、家族、OBの皆さまに不安や不信感を与える結果となったことを重ねて、心よりお詫びを申し上げますと同時に、これまで判明している事実関係について報告するものです。

## ろうきん「勤労者生活支援特別融資制度」 2010年5月31日までとなります！

賃金の独自削減により生活設計が狂ってしまった組合員限定の有利な金利で利用できる融資制度です。これまで、利率の関係上3月31日までということでお知らせしていましたが、5月31日まで現在の金利のままとなりました。ご利用予定のある方はお早めにご連絡ください。

### 制度の概要

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 期 間 | 2010年5月31日までの期間限定                  |
| 対象者 | 勤続1年以上で、年収150万円以上の組合員              |
| 限度額 | 100万円以内(限度額内での反復利用可能)              |
| 使 途 | ・生活の維持、生活基盤の安定のための資金<br>・他行ローン等の借換 |

ただし、他行借換資金は制約あり  
負債整理、事業を目的とする資金及び他人への転貸資金は対象外

返済期間 10年以内

金 利 年2.40% (保証料込みの固定金利)

返済方法 組合引取りのみ

その他 退職などにより組合員でなくなった時点で一括返済していただくこととなります。

必要書類等については書記局またはろうきん担当者(中島さん、26-4231)までお問い合わせください。

## 政治解決に向けて！2・16中央集会

24年目に突入した1,047名の国家的不当労働行為であるJR差別問題について、2月16日に東京都日比谷野外音楽堂で「JR不採用問題解決へ！2・16中央集会」が行われ、東京では珍しくみぞれ混じりの悪天候の中3,000名を超える全国の連帯する仲間が集まりました。市職労からも2名が集会に参加し、最後まで共闘する決意を新たにしました。

集会では国労本部委員長、連帯する各団体の挨拶の後、当事者・家族の訴えがありました。「年老いた親が生きているうちに解決してほしい」「心配しながら志半ばに亡くなってしまった人に良い報告をしたい」と述べられました。集会後の2月23日には与党3党などによる政治解決に向けた素案がまとめられ、いよいよ解決に向けて動き出しています。「ひとりも路頭に迷わせない」解決が1日も早くくることを願うばかりです。

